

## 第4号議案-1 令和3年度 事業計画

活動の目的	<p>地域のさまざまな課題の解決と地域資源の活用をめざして、三田市との協働のもと多世代交流の場の拡充や地域情報活動の円滑化を図る</p> <p>本年度も、コロナ感染対応には全住民のご理解のもと、皆さんの協力をいただきながらの厳しい地域活動が予想されます。コロナ禍でも構成団体間の更なる連携の強化を図りつつ、活動団体やグループが地域のあらゆる人たちと一緒に取り組むオープン事業や、多世代交流事業を核とし、益々コミュニケーションの輪をオンラインの力を利用して、地域の隅々まで広げ、絆を強め、少子高齢社会に適応した、弥生らしい「安心・安全」で「明るく・住みよいまちづくり」を目指し、個人の『点』から『線』にそして大きな『輪』につなげることを目的とする</p>
活動の内容	<p><b>I. 主催事業</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 事務員を1名（3名シフト）雇用継続（毎週月～土 9：00～13：00 常駐）各団体の連絡の役割と、まち協や構成団体の事務的業務の軽減に努める</li> <li>2) まち協活動の周知、及び地域情報伝達のため「まち協だより」を年数回発行しタイムリーな情報発信をめざす。情報提供や配布は、自治会の協力を得る</li> <li>3) 『やよい夢ひろば』については、子どもたちや大人が楽しい憩いの場として安心して活用できるように、整備・維持管理を地域の有志を中心に適宜実施する 草花の植樹や長椅子・テーブルの設備を補充する</li> </ol> <p><b>II. 共催事業</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 前年同様「ほっと841」を中心に2・3丁目街区公園の草刈りを年3～4回程度実施</li> <li>2) 本年度も引き続き三田市が定めた「避難行動要支援者支援制度」に基づき自治会が行う要支援者に対する支援活動が円滑に機能するよう、まち協として関係諸団体と協議を重ね成果を得るよう調整を諂る</li> </ol> <p><b>III. 支援事業</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「いきいき百歳体操」「うたごえ広場」等の健康・文化事業の会場費の一部支援</li> <li>2) 「とんど」、「餅つき大会」、「弥生ふるさとまつり」等の交流事業の資機材費用の一部支援</li> <li>3) コミセンに常設のAEDレンタル費用と、防災用デジタル簡易無線機の更新料や電波使用料を負担</li> <li>4) その他各種オープン事業への支援</li> <li>5) コロナ感染防止対策に伴う安全衛生関連備品の調達</li> <li>6) コミセンの多世代利用にともない、大型ディスプレイの設置</li> </ol>

	<p><b>IV. 後援事業</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 「カフェやよい」（毎週火曜日）開催</li> <li>2) 「オアシスやよい」（毎月第3水曜日）開催</li> <li>3) 「てらこや」（毎週月・木曜日）、夏・冬休み「宿題お助け隊」実施</li> <li>4) 「弥富（ヤフー）こうみん未来塾」（年2～3回のプログラム）</li> <li>5) 生活支援活動「ハートやよい」の側面的な協力を継続する</li> <li>6) 「弥生テニスサークル」（毎週金曜日三田谷テニスコートで）開催</li> </ol>
活動の工夫	<p><u>I - 1)</u></p> <p>定例役員会を年6回開催し、自治会を中心としたボランティア（ほっと841）の協力を得ながら横の連絡を高め、組織づくり及び活動計画の企画・推進を検討する</p> <p><u>I - 2)</u></p> <p>まち協事務員の事務作業に、「まち協だより」の編集の協力を加える。 従来どおり、各構成団体の連絡業務と事務作業の軽減のため手助けをする</p> <p><u>I - 3)</u></p> <p>『やよい夢ひろば』の適正な維持管理を継続実施する また、新たに三世代で活用できるような事業を企画策定する</p> <p><u>I - 4)</u></p> <p>新たなオープン事業の拡充を図る</p> <p><u>I - 5)</u></p> <p>準構成団体（幼稚園、小・中学校、スポーツ21等）の「夢ひろば」活用の検討</p>